

慶祝

おめでとうございませ
心より祝福いたします

(敬称略)

「市の記念日・市長表彰」

平成30年7月12日付

◎社会福祉(民生委員・児童委員)

佐藤 義孝(植山愛宕下)

地区への1篤志

○「香典返し」

3万円(亡父 七尾四郎さん)

植山登町 七尾恵美子様

○「芳志」

1万円

植山南中町 加藤 俊悦様

築山地区敬老会のお知らせ

恒例の当地区社会福祉協議会主催の30年度築山地区敬老会を次の通り開催します。

対象となる方々は、本年度末で満75歳以上(昭和19年4月1日以前にお生まれ)の皆様です。

該当する方々には、別途御案内致します。お誘い合わせのうえ、多数ご出席ください。

日時 9月18日(火)午前11時
場所 植山コミュニティセンター

赤い羽根共同募金

各種共同募金のご協力を
お願いします

(築山地区共同募金会)

本年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

皆様からご協力いただいた募金は秋田市共同募金委員会(以下「市共募」)に全額送金され、県市の社会福祉活動の助成等のほか、各地区社協にも配分されるため、地域福祉を高めるうえで極めて重要な社会事業費となります。

秋田市では世帯数に応じて按分して各地区の目標額を決めています。また、各地区社協でも事業の推進に必要な目標額を設定して「市共募」に提出してまいります。募金の実績額が目標額合計を上回ると、地区への配分金が加算されます。

当築山地区は、皆様のご協力により昨年も目標額を超えることができました。「歳末助け合い配分原資金」と合わせて、地区の福祉事業の推進や諸団体への助成などに充てることができま

す。昭和22年、社会事業共同募金中央委員会が発足し、育児院・養老院・母子寮・療養所入所など、生活に困る人々の施設への資金寄付募集がルーツの「赤い羽根共同募金」です。

「歳末助け合い募金」も含めて、各町内会の皆様に今年度もご難儀をおかけしますが、共同募金活動の趣旨のご理解と募金へのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

会務報告

平成29年3月～平成30年8月

3月6日 「築山社協だより」第53号を発行し、民生委員 町内会長を介して全世帯に配布

3月7日 市共募実績報告会・市社協事務担当者研修会に会長と京屋副会長が出席

3月20日 市社協理事会に会長出席

4月5日 平成29年度会計監査実施

4月12日 地区社協役員会を開催し、総会提出議案を審議

4月28日 定期総会を植山コミセンで開催し、平成29年度事業報告・同決算、平成30年度事業計画・予算について審議承認

5月16日 市社協監事会に会長出席

5月24日 市社協理事會に会長出席

5月24日 築山社協だより編集委員会を植山コミセンで開催

6月19日 市社協連絡会総会に会長出席

6月29日 カラオケ大会開催

7月6日 地域福祉活動合同研修会に会長ほか役員多数出席

7月7日 敬老会該当者調査を民生委員・町内会長に依頼

7月11日 七地区社協交流研修会に会長と副会長3名が出席

7月13日 地域福祉推進関係者連絡会に3名の役員が出席

7月21日 「築山地区防災研修会(講演会)」を植山コミセンで開催

7月29日 共同募金運動資材を市共同募金委員会に申請

8月16日 敬老会該当者に案内状を民生委員等の手をかり、町内会長から配布開始

◆編集後記◆

昨今、異常とも言える気象の荒れは「地球の温暖化」ともいわれる。7月上旬の西日本豪雨の記事では、「垂直避難」なる新語も飛び出した。河川の氾濫前に脱出出来なかった高齢者などは、自宅が浸水しても二階や屋上などに移動したり、窓から合図して救助を求めていた。足腰の不自由な人にとって移動は難儀だ。秋田も連日35度以上の猛暑。熱中症も驚異だった。台風12号は、東から西へ列島を移動する逆走であった▼9月1日は「防災の日・二百十日」。これから台風シーズンを迎える。築山地区で自主防災隊を設置している町内会は、やっと約半数の組織率。結成はしているものの活動が停滞している町内会も見られる。こうした町内では「班」の役割が重要になる。班内の一人暮らしの高齢者や、足腰の不自由な人を把握し、いざという場合の通報・避難に積極的に活動されることを期待したい▼避難先が自宅から遠かったり、途中の安全確保が出来ない場合もある。自助・共助をどう確立するか、真剣に考えたいものだ。平素から各自、周囲の人たちと話し合っておくことも肝要▼本号では「防災研修会(4・5面)」を特集しました。

(北條)

編集委員

- 北條 晃
- 加藤 俊悦
- 佐々木洋吉
- 京屋 均

各町内会長様に深く感謝



築山地区社会福祉協議会
会長 加藤 俊悦

当地区社協では、「築山社協だより」にて、事業の報告やその進捗状況などをお知らせしていますが、本号では、当地区社協が各町内会長とどのように連携し、事業を展開しているかについて、ご紹介いたします。

「築山学区町内会長連絡協議会」は連合会も含めると69町内会で組織されています。(第5面参照)
町内会長の皆様からは、各世帯と直接的に顔の見える絆づくりとしての福祉活動に鋭意ご尽力いただいております。

町内会長の任務は極めて多岐に渡っており、日頃のご労苦に感謝申し上げます。当地区社協との連携につきましても次に掲げる事項について、多大なご協力をいただいております。各世帯の皆様からもこのことについてご理解いただき、町内会長様に対して一層のご協力をいただければ幸甚に存じます。

『当地区社協との主な連携内容』
○町内会世帯数報告と社会福祉費等の集金・納金
○社協各種事業の各世帯への周知・参加者の取りまとめ
○敬老会該当者調べと敬老会出席

席者名簿の提出・該当者への敬老お祝い品のお届け
○「赤い羽根共同募金」・「歳末たすけあい」運動における募金額の取りまとめと納金
○歳末たすけあいの激励訪問等への協力

○刊行物の各世帯への配布など繰り返しになりますが、右記のように、各町内会長様からは社協の核となる事業に絶大なご尽力を賜り、誠に頭の下がる思いでございます。

なお、これらの事業の推進につきましては、「築山地区民生児童委員協議会」の皆様からも、各町内会との連絡等に当たっていただいております。
ところで、秋田市市民生活部では「地域での避難支援体制づくり」をメインとする「地域福祉推進関係者連絡会」を毎年開催しており、(当地区から佐藤秀一会長(築山学区町内会長連絡協議会)、佐々木洋吉会長(築山地区民生児童委員協議会)と私の3名が参加しています。当地区における地域福祉推進三者連携が円滑に推進されておりますことにも、深くお礼を申し上げます。

築山社協だより

第54号
平成30年9月1日
築山地区社会福祉協議会
発行人 加藤 俊悦
(題字：茂林 憲子)

登町竿燈会 「川口デイサービス」と交流



8月4日、今年も登町竿燈会メンバーが川口デイサービスセンター(植山登町)を訪れ交流。ドッコイショ!ドッコイショ!竿燈を操る差し手の妙技や、笛や太鼓による囃方(女性グループ)が熱演。施設利用者を魅了しました。

研修重ね 防災の意識高めよう

30年度築山地区社協 定期総会

平成30年度の築山地区社会福祉協議会定期総会は、4月28日午後2時から、榊山コミュニティセンターで開催。役員や町内会長、福祉協力員、民生児童委員で構成する評議員ら70名が出席、事業計画や予算などを審議しました。はじめに加藤俊悦会長が挨拶（別稿）



に要旨）し、「集中豪雨など災害への備えが年々重要になってきている。今年も防災研修に力を入れることにより、講演会を企画している。多くの方々の参加をお願いしたい」などと述べました。当日は、来賓として築山小学校・鈴

加藤俊悦会長のあいさつ概要

町内会長・民児協の方々や地区の皆様には、平素から地区社協事業に甚大なご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。今年度は、町内会長・民生委員・社協役員等が連携を更に強化し、実のある研修会や多人数で楽しめる事業を企画し、地区の全世帯に回覧がゆきわたるような行事を増やしたい。特に7月21日開催の「防災研修会（講演会）」は、喫緊の課題をテーマとする内容であり、多くの皆様からのご参加をお願いしたい。（写真は平成30年度定期総会）

30年度事業計画の重点目標

- 1 高齢者の健康づくり、生きがいづくりのための活動を展開します。
- 2 地区敬老会を実施し、老人クラブ助成など老人福祉充実を図ります。
- 3 築山児童センター、きりんクラブ、4つの保育園などへ助成します。
- 4 災害時避難支援プランの推進に向けた研修や体制整備を充実します。
- 5 地区民児協など5団体に助成し活発な活動を期待します。
- 6 「社協だより」を年2回発行し、全世帯に配布します。
- 7 軽スポーツ、カラオケ大会など地域交流を特別事業で展開します。

木了校長、榊山交番・長沢英紀所長のご臨席を得ました。議事に入り、議長は佐々木洋吉副会長が担当、加藤会長から29年度事業・決算報告、さらに30年度の事業計画・予算の議案説明があり、それぞれ原案通り（会計報告は3面に）了承されました。議事終了後、日本赤十字社秋田市地区築山分区分会長・妹尾弘氏から「30年度日赤会員増強運動」への協力依頼もありました。

地域の安全・安心のために

秋田中央警察署 榊山交番所長 長沢 英紀

はじめに
今年の3月から「榊山交番」で勤務しています。秋田市での勤務は9年ぶりで、前任地は大館市でした。築山地区には、市内の中心部にありながら太平洋や金照寺山など、自然に恵まれた閑静な住宅街というイメージがあります。赴任した時は、素晴らしい環境で勤務できる喜びと責任の重さを痛感しました。この初心を忘れずに今後も職務に精励したいと思っております。

連携の大切さ

交番に来て感じたことは、築山地区のみなさんの安全・安心に対する意識の高さです。交通安全協会榊山支部の方々による「飲酒運転防止キャンペーン」、築山地区社会福祉協議会、町内会長連絡協議会の方々共催した「防災研修会」、築山小学校安全ネットワークボランティアの方々が行っている「子ども見守り活動」など、一人一人が熱意を持って取り組む姿を見て、本当に頭が下がる思いがしました。

榊山交番では、毎月一回「広報ならやま」を発行しています。特殊詐欺被害防止や交通事故防止などの注意事項

が主な内容となります。事件、事故の抑止は警察の重要な責務です。

この広報紙は、防犯協会榊山支部の方々から築山地区各町内会の世帯数ごとに仕分けしていただいた後、それぞれの町内会長さんに配布をお願いしています。これらことからわかるように警察活動は、地域のみなさんに支えられているのです。広報紙に関しては先日、巡回中に「交番の広報には、もっと地域性を盛り込んでほしい」という要望がありました。今後さらに地域に密着した記事を掲載するように努めます。

未来に向かって

6月のある日、築山小学校2年生9名の児童が保護者の方と一緒に榊山交番に来てくれました。生活科学習「だいきいっばい、わたしのまち」の活動です。子どもたちの元気な姿と明るい笑顔を見ることができました。これはうれしいことですし、本当に励みになります。

子どもたちが笑顔で、未来に向かって歩んで行けるように、今後もみなさんと連携を深め、地域の安全・安心を守るために榊山交番勤務員一同、全力で頑張ります。

参加しませんか

いきいき地域サロン

築山地区のみなさん！時には「お宅」の外へお出になりませんか！当築山社協では、予算を計上して標題の「いきいき地域サロン」活動を支援しております。

これは、高齢者の方々を含めた仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりなどを推めることを主眼とします。特に高齢者の閉じ籠もりを防ぐ目的もあります。対象とする地域サロングループは別表のとおりです。みなさん、お誘い合わせてエンジョイしませんか？長年御勤めの職場をリタイアされた方々もいらつしやることでしょうか。例えば「グラウンドゴルフ友の会」は、本年八月現在、男女約60名の方々がメンバーです。他地区チームとの交流ゲームも開催されております。入会のお申込み先は、表に掲げられた代表者やお仲間へどうぞ！



グラウンドゴルフを楽しむメンバー

仲間づくり！生きがいづくり！健康づくり！ いきいき地域サロン

サロンの名称	例会日時	開催場所	代表者・連絡先TEL
グラウンドゴルフ友の会	毎週(火)・(金) 午前9:30	榊山公園	佐川喜代四
	毎週(木) 午後1:00	榊山公園	
	毎月第2・4(土) 午前9:30	築山小グラウンド	
榊山合唱クラブ	毎月第2・4(木) 午前10:00	榊山コミセン	妹尾 克利
フロアーカーリング会	毎月第3(土)・翌週(日) 午前9:30	榊山コミセン	佐藤 敏勝
囲碁クラブ	毎週(土) 午後1:00	榊山コミセン	大島 洋三
太田町ほほえみサロン	毎月第2・4(月) 午前10:00	太田町町内会館	福井 陽子

安心キット(無料配布)の活用を!!

総会では、秋田市社協が勧めている安心キット(救急医療情報キット)の活用の呼びかけも行われました。安心キットとは、あらかじめ「かかりつけ医」や「持病」などの医療情報を専用の筒に入れ冷蔵庫に保管しておくことで、自宅が具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」のときに、その情報を救急医療に活かすものです。具体的な活用状況(秋田市消防本部まとめ)として

- ▼トイレ内で倒れている夫を妻が発見。意識障害があり妻も混乱していたが駆け付けた救急隊員に妻がキットを手渡し使用
 - ▼訪ねた息子が階段下で倒れていた一人暮らしの父を見つけた通報。キットを携え隊員を待っていた
 - ▼家族不在時にフラフラ感と動悸が起きた姿を隣人が見つけ119番通報。その情報と冷蔵庫のキットで隊員が対応
 - ▼入浴中に胸痛が起きた一人暮らしの高齢者。駆け付けた隊員にキットを伝え対応に役立つ一など、18事例が紹介されました。どのケースも緊急時の初対応に、安心キットが大いに役立つことは言うまでもありません。
- 安心キットは無料です。町内会長や福祉協力員、民生委員らを通じて申込用紙に記入。市社協から町内会長らを経て希望者本人に届けられます。気軽にご相談ください。

築山地区社会福祉協議会の 会計報告

平成29年度決算及び平成30年度予算

収入

単位：円

科 目	29年度決算額	30年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 費	1,101,280	1,090,800	360×3,030世帯
2 共同募金一般配分金	857,518	771,882	29年度地区共同募金実績による配分
3 友愛訪問事業交付金	141,818	141,818	見守りネットワーク事業
4 助 成 金	1,305,498	1,240,418	地区福祉活動 484,800、健康支援他 755,618
5 補 助 金	1,557,000	1,557,000	敬老会(市補助)
6 寄 付 金	132,533	100,000	
7 諸 収 入	422	400	普通預金及び定期預金利息
8 繰 越 金	1,348,769	1,576,182	平成29年度からの繰越
合 計	6,444,838	6,478,500	

支出

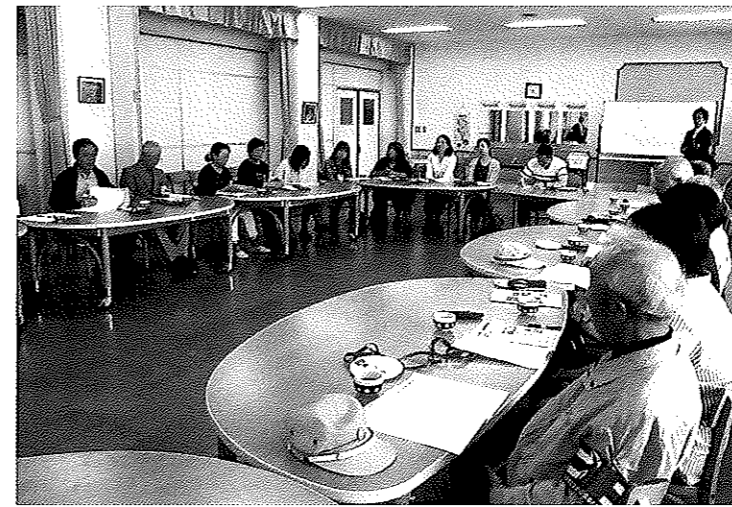
単位：円

科 目	29年度決算額	30年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 議 費	93,172	150,000	総会、役員会、監査等
2 事 務 費	109,756	200,000	
3 老 人 福 祉 費	1,681,589	2,090,000	敬老会 2,000,000 3老人クラブへ助成 90,000
4 児 童 福 祉 費	170,000	190,000	地区内4保育園 80,000 築山きりんクラブ 20,000 築山小学校子供会育成 40,000 築山児童センター運営助成 50,000
5 災 害 見 舞 金	0	100,000	
6 研 修 費	163,388	500,000	市社協、7地区・Bブロック研修、宿泊研修他
7 助 成 金	170,000	170,000	築山地区民生児童委員協議会 40,000 築山学区町内会長連絡協議会 40,000 築山地区自主防災組織協議会 35,000 榎山コミュニティセンター 25,000 築山地区体育協会 30,000
8 広 報 費	411,337	420,000	築山社協だよりの発行(年2回)
9 慶 弔 費	10,922	50,000	
10 特 別 事 業 費	908,612	1,000,000	地域交流行事 500,000 高齢者への激励訪問 150,000 幼児と高齢者のふれあい行事 50,000 軽スポーツレクリエーション大会他 100,000 グラウンドゴルフ、カーリング大会 150,000 カラオケ大会 50,000
11 市 社 協 納 入 金	1,134,880	1,124,800	全戸会員会費 1,090,800 特別会費他 34,000
12 予 備 費	15,000	483,700	
合 計	4,868,656	6,478,500	

※ 上記の外に、基金として4,000,000円の定期預金(北都銀行榎山支店)

地域活動

写真へ見るまちの動き



築山小学校の安全ボランティア



子ども達が安全に登下校や生活が出来るようにと、築山地区では安全ボランティアの方々が頑張っています。現在60人のメンバーは、登下校時の交差点誘導(左下)や、築山小学校での不審者、危険箇所などの情報交換(左上)、同小感謝集会での顔合わせ(右上)を通じて、日頃からさりげない見守りを展開しています。



カラオケ大会が、今年は会場を有楽町のスナックに移し、6月29日開かれました。参加者は35人。素晴らしい音響に乗せ、日ごろの歌いっぷりを十分発揮し楽しく過ごしました。



築山児童センターで、お金を考える出前講座が5月31日開かれました。県金融広報委員会の伊藤晴美アドバイザーが訪れ、築山小学校の1年生にクイズ形式で、お金を無駄にしないことや生活を支える親への感謝の気持ちを学ぶとともに、貯金箱も作りました。

未就学児童の子育てサークル「きりんクラブ」の救急救命講習会が7月18日、築山児童センターで開かれました。城東消防署の救命士が幼児に多いトラウマの対処法などを解説。お母さんたちは人形を使って学びました。



築山地区防災研修会（講演会）が、7月21日、榊山地区コミュニティセンターで開催されました。講師は本県水工学の第一人者、秋田大学大学院理工学研究科の松富英夫教授（榊山地区住）で、「水災害への備え」と題して話され、築山地区の太平洋川流域の具体的な分析に参加者は防災の気持ちを新たにしました。

最大クラス想定へと変更

研修会には、当社協会の加藤俊悦会長、佐藤秀一町内会長連絡会会長、築山地区民児協の佐々木洋吉会長をはじめ、町内会長、福祉施設、保育園関係者、地区住民らおよそ130人が参加。蒸し暑い中、熱心に松富教授の話に耳を傾けました。

松富教授は、まず洪水、津波の事前対策の変遷に触れ、いずれも堤防やダムといった防災設備の建設、防災体制の強化、防災まちづくりを柱に人命や財産等の損失の軽減が図られてきたが2011年の東日本大震災以後考えが変わったと強調しました。これら対策を踏まえつつ、最大クラスの津波に対応しようと。洪水対策もスパー堤防の重要性を指摘し2015年の関東東北豪雨後は河川も最大クラスの大雨を想定にとなったと述べました。

ちなみに津波が発生した時、秋田市の場合は到達に30分以上かかるとみられ、その間の対応のタイムテーブル的なものが必要になるが、複雑になり過ぎないことが肝要ということでした。

太平洋川の増水に留意を

松富 英夫 秋大教授 防災研修会で喚起促す

低い太平洋の治水安全度

日本の河川は河床勾配が大きく大陸河川と比べて流れが速いという特徴があります。このため河川改修を進めていくのですが、雨量が多いと大量の土砂がどこで浸食され、どこに流れて堆積するかわからない面があり管理が難しいと指摘。『いちごっこ』などの実情とも、また我々は川が氾濫してきた平地に人口の51%が住み、資産の



具体例を挙げて説明する松富教授

75%が集中しており、危険地帯に住んでいるというそれなりの覚悟を持つよう促しました。

国が評価した現況の治水安全度で秋田市を見ると、雄物川の放水路（河口付近）は、50年に一度の規模の雨に耐えるようになってきているが、旭川は10年〜30年に一度、太平洋は10年に一度の規模の雨でも持ちこたえられないと松富教授は指摘しました。今後は、雄物川河口付近は150年に一度の規模の雨に耐えられるよう計画されているようですが、厳しい内容に気持ちを引き締まる思いでした。

話した津波に移り、日本海の津波を想定する場合、断層の傾斜角が大きい津波が大きな断層幅が狭いなどに加え、メタンハイドレートの存在に関するガス噴出が、津波の規模を大きくする要因になることも挙げました。

土砂密度の検討欠かせない

松富教授は、土砂を含んだ津波をもっと研究すべきではないかと問題提起しました。濁って土砂が混じった津波は重く、密度が大きくなっているため、それを含まない津波より17%は力が強くなり得る、と言います。東日本大震災以前から地質ボーリング調査で地中から津波で運ばれた砂の層が見つかり、過去の地震津波の大きさが

評価されてきていますが、密度チェックが検討項目に加わることで、津波の規模をより正しく把握できる、と松富教授は今後の取り組みに期待を寄せていました。

築山地区、危ない力所は…

研修会で参加者の関心が最も高かったのが、築山地区の水害環境でした。松富教授は、太平洋と旭川の流れを示した航空写真、太平洋の変遷を示した1938年の地形図と1948年撮影の航空写真、最新の地形図などをスライドで紹介。写真を見た第一印象として、危ないと感じた2カ所を示しました。一つは太平洋橋（牛島商店街に通じる橋）のすぐ上流の南新町付近。もう一つはさらに上流の才八橋付近。いずれもV字のように大きく蛇行しているのがはつきりとわかります。

その理由として、蛇行部は川の流水にとって大きな抵抗であり、水位が大きく上昇することを指摘しました。また、雄物川が氾濫するときは旭川や太平洋も洪水である可能性が高く、旭川と太平洋の流水は行き場がなくなり水位が上昇、いたる所であふれることになる、と言います。

先日の西日本豪雨。岡山県倉敷市真備町を流れる高梁川と小田川が合流地点で高梁川から小田川に逆流、小田川があふれ一帯が水没しました。このバックウォーター現象をイメージすればわかりやすいと思われました。

万一に備えて救命胴衣を

浸水への対応は大丈夫でしょうか。現在秋田市が避難勧告や避難指示などに基いて避難所を指定しているのは主に震度6強以上の地震が発生したと想定した場合です。

築山地区の指定避難所である榊山コミセン、築山小学校、秋田南中学校は、いずれも地震の場合であり水害は対象になっていません。ケースバイケースでの対応になるでしょうが、「我々は氾濫地域に住んでいるという自覚を忘れないように」という松富教授の一言を重く受け止めました。

そうした現状を指摘したうえで松富教授は、救命胴衣を準備しておくことを強調しました。住民の中には避難するように案内された場所へは足腰が弱くて歩いていく自信がない、車いすでは無理という方もいるはず、そうした方は救命胴衣を着用して避難するか、最悪の場合は救命胴衣を着用し可能なならば二階に避難して救助を待つというほうが安全、だということです。津波時に救命胴衣を着て亡くなったという話は聞かないと松富教授は語りました。



熱心に耳を傾けた参加者

「この松富教授の言葉は、参加者全員心にしっかりと留めておきたいと思われました。」

防災対策は多面的な手法で

講演会の最後に参加者から質問がありました。「洪水対策としてダム、スパー堤防などいろいろあるがどれが一番効果的であろうか」と。松富教授は、個人的な考えであるがと断ったうえで「スパー堤防は投資効率を考えると秋田市では難しい。上流部へのダム建設、堤防強化、川幅拡充、河道掘削、河道内の樹木の伐採などいろいろ考えられるが、気候変動を考えると多面的な手法の組み合わせになるのでは」と答えました。

築山地区の具体的な情報が満載の裏りある研修会となりました。

松富英夫教授のプロフィール 1953年山口県下関生まれ。1979年中央大学大学院理工学研究科博士前期課程修了。2005年より秋田大学大学院理工学研究科教授。同大理工学部附属地域防災力研究センター長。専門分野は水工学。2015年秋田県津波浸水想定調査委員会委員長。

平成30年8月1日現在

築山学区町内会長連絡協議会					
町内会名		会長名	町内会名		会長名
宮田	松田 昭夫	榊山虎ノ口新町	渡邊 孝一	愛宕下東丁	田中 繁
JR宮田自治会北	高橋 慶太	南新町	長門 永興	愛宕下西丁親交会	佐藤 義孝
イーストM宮田社宅	篠内 祐哉	森林管理局第7アパート	加藤 博	愛宕下南丁	松淵 隆
築地北町	鈴木 正志	太	林崎 勝	愛宕下北丁	若木 渥
築地東上町	皆川 千景	牛島橋通町	伊勢谷順一	愛宕下中丁	上神谷雄二
築地窪町	伊藤 勝美	牛島橋通り南部	大森 浩逸	城南町	石垣 隆郷
築地上本町	伊勢 定正	榊山共和町	菅原 文夫	金照寺山	藤原 秀雄
築地下本町	豊島 政信	榊山下浜町	藤原 敏弘	寺小路北	内藤 眞吾
築地中町	佐瀬 道則	川口境西部	進藤 光正	寺小路南	三浦 五郎
築地西町	三浦 良晴	登町南部	高橋 健	城南みなみ	堀井 満
築地陸会	加賀屋 恵	川口境東部	柴田 俊雄	榊山石塚谷地	打矢 春信
榊山本新町上丁	江畑 佳明	若草団地	木村 正美	榊山	伊藤 達男
榊山本新町下丁	佐藤 翠	入川橋	佐藤 喜子	榊山石塚新町	原田 福夫
榊山上本町	中川 利宗	十軒町	進藤 幸男	太田町連合町内会	金野 浩
榊山本横町	津谷由紀子	米沢町	滝澤 文雄	太田町本町	高橋 泰博
内木町	柳原久美夫	登町東部	相場 和志	太田町山水会	鈴木 毅
榊山本町下丁	佐藤 茂徳	登町中央部平和会	田口 学	太田町東部	土岐 文雄
榊山古川新町	保坂 金雄	登町西部	佐藤 秀一	太田町陸会	今 豊
百石橋通り	波多野達雄	亀ノ町栄町	岡部かず子	太田町栄町	土田 千明
榊町親睦会	安藤 秀樹	餌刺町	高橋 和博	太田町南町	甘野 朋子
末無町	工藤 裕紀	九郎兵衛殿町	新城 正弘	太田町新町	佐藤 恒夫
医王院前町	大竹 敦	策町	福田 洋介	太田町旭町	山上 一之
榊山広小路	南浦 睦子	三枚橋町	佐々木重雄		佐藤 正